

令和6年度第4回小牧市環境審議会 議事録

日 時	令和7年2月20日(木) 午後2時00分～午後2時45分
場 所	小牧市役所 本庁舎6階 601会議室
出席者	<p>【委員】(50音順)</p> <p>○石川 英里 中部大学工学部教授 今枝 正 こまき環境市民会議会長 酒井 美代子 小牧市女性の会会長 田上 昭典 小牧市小中学校校長会 馬場 容子 公募委員 松本 高幸 公募委員 宮脇 稔 愛知県地球温暖化防止活動推進員</p> <p>◎山本 敦 中部大学応用生物学部教授 吉本 三広 市内事業所推薦</p> <p>※ ◎会長 ○副会長</p> <p>【事務局】</p> <p>梅村 知成 環境対策課長兼ゼロカーボンシティ推進室長 宮下 美則 リサイクルプラザ所長 赤堀 真耶 環境政策係長兼空港対策係長兼ゼロカーボンシティ推進係長</p> <p>中川 真徳 環境保全係長 渡邊 浩 ごみ政策課収集美化係長 若山 愛美 環境政策係主任兼空港対策係主任兼ゼロカーボンシティ推進係主任</p>
欠席者	0名
傍聴者	2名
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・資料1：第三次小牧市環境基本計画(改定版)(案)に対するパブリックコメントに提出された意見及び提出された意見に対する市の考え方(案) ・資料2：第三次小牧市環境基本計画(改定版)最終案 ・資料3：第三次小牧市環境基本計画(改定版)概要版(案)

主な内容

1 開会

2 議題

(1) 第三次小牧市環境基本計画（改定版）最終案について

- ・事務局より資料1から3について説明
- ・主な質疑、意見は以下のとおり

(山本会長)

パブリックコメントの資料を拝見したが、これだけ真剣に見ていただけるのはすごくありがたいことである。今回の意見は改定版に反映されるのか。

(事務局)

修正できる部分は修正したいと考えている。

(宮脇委員)

26ページの1行目、「小牧山や市の東部に広がる丘陵」とあるが、尾張白山を入れることに何か問題があるか。私の希望としては、尾張三山の一つが小牧にもあるわけで、問題がないのであればぜひ載せていただきたい。

また、30ページには「兒の森や小牧山をはじめとして」とあるが、中央の小牧山に対して、東部の尾張白山としてはどうか。その後ろには「緑の骨格を形成し」とあるため、「山」のほうイメージされる。林野庁のホームページにも「国の宝は山なり。山の衰えは国の衰えなり」とあるほど、大事にしないといけないということをこどもたちにもこの計画を見たときに感じてほしい。58ページの1行目にも「小牧山や兒の森を含む大山地区の山々の樹林地」とあるが、ここに尾張白山という文言があってもいいと思った。

もう1点、68ページに保護が必要な絶滅危惧種が載っているが、絶滅危惧種といえば「マメナシ」がないのに少し違和感がある。マメナシは文化財課でしっかり管理しているから載せなくてもよいということであればいいが、絶滅危惧種というくくりで見るのであれば、入れたほうがいいのかと思った。

(事務局)

まず1点目の尾張白山について、この文章は小牧市環境基本条例から引用しており、そこには「小牧市の東部に広がる丘陵」と記載されているため、このような文章となっている。

もう1点のマメナシの件については、レッドデータブックから記載しているところだが、掲載するかについては検討させていただきたい。

(吉本委員)

改定版を拝見して非常によくできているなというのが感想である。図表やトピックスが入り、配色も2色刷りから多色刷りになり見やすくなった。

特段指摘事項はないが、第4章の目標達成に向けた施策・取組のうち、基本目標Ⅱの資源循環型社会の実現、基本目標Ⅴの人づくり・環境基盤の整備については、非常に身近な施策や取組となっている。市民の皆さんの関心も高いと思うため、生活の基

盤となる「健やかで快適なまち」、「豊かな自然と人がともに生きるまち」を目指して新規の施策や多くの提言を踏まえた継続施策と合わせた、効果的で具体的な施策が実施されることを期待している。そして、日常生活や環境年次報告で効果を実感したいと思う。

(山本会長)

8ページの③に「レジリエント」という言葉があるが、76ページまでいかない用語解説がない。注釈の位置を変更できないか。

また、37ページの達成目標に「1㎡あたりの年間エネルギー消費量」とあるが、二乗の位置が上付きでないのはおかしいと思った。もし直せるのであれば、mの上ではなくて、右上につけてほしい。

(事務局)

用語解説が後ろに記載されている部分については、最初に出てくるところに記載するように修正する。また㎡についても修正したいと思う。

(松本委員)

本編は詳しい方は読まれると思うが、多くの一般市民は本編を目にする機会も少ないため、概要版を見ることになるのかなと思う。環境基本計画の改定版はカラフルになって項目が見やすくなり、それが概要版にも反映されている。ただ、市民は何をすればいいのかと思ったときに、今までの概要版は見開きの真ん中に市民の取組が横一列に記載されており、「こういうことをすればいいのか」というのが分かったが、改定版の概要版は下に小さく市民の取組があるので、少し見づらいと思った。

また、4ページの各主体の取組のうち「省エネルギー化の推進」の市民の取組の最初に「デコ活」という言葉が出てくるが、「デコ活って何？」となったときに概要版には用語解説がどこにも載っていない。本編には41ページに解説があるが、概要版にはないため、紙面の関係上難しいかもしれないが検討いただきたい。

(山本会長)

デコ活だけでなく、いろいろな用語が出てくる。本当は概要版だけでも分かるような説明があればいいなと思う。

(事務局)

紙面の関係上、注釈を入れることが難しい部分もあるが、修正できる部分は修正したいと思う。

(田上委員)

これまで審議会で出た委員さんからの意見を検討いただき、読みやすいものになったと思う。私は学校代表の立場で出席させていただいているが、机の上に5年生の作文を置かせていただいた。11月に1ヶ月間5年生の国語の授業を担当させていただき、そこで「説明文を作ろう」という単元があった。私が環境審議会に出席していたため、私から環境基本計画の達成目標の資料だけを提示して説明文を作ってもらったところ、こどもたちはネット検索をして、第三次小牧市環境基本計画などを出しながら説明文を作っていた。そのうちの一人の作文になるのだが、やっぱりこどもたちも何かしらきっかけがあれば環境などに目を向ける。柔軟な思考があるため、将来の小牧を

担う若者たちに伝えていくことが、本当に大事なのではないかと思う。学校としても協力できることがあれば協力していきたい。

(酒井委員)

前回の概要版は見開きカラーだったが、改定版の概要版はどのような形で出されるのか。

(事務局)

閉じ方としては中綴じになるが、市では紙の削減の取組を推進しており、本編の冊子は印刷するものの概要版は印刷をしないため、ご理解いただきたい。

(石川委員)

先ほど山本会長もおっしゃっていた単語について、「レジリエント」や「デコ活」は本編 106 ページの用語解説に説明があるが、可能であれば用語解説のほうに、デコ活などの言葉が本編の何ページに書いてあるかを記載していただくと、理解が深まるのではないかと思った。

(事務局)

対応できるかわからないが、可能な限り分かやすい表現に努めたい。

3 その他

- ・計画書の表紙案の進捗状況について事務局より報告

(事務局)

本日の環境審議会が第三次小牧市環境基本計画（改定版）策定前の最後の会議となるため、環境審議会を代表して山本会長より環境対策課長の梅村へ答申をお願いしたいと思う。

(山本会長)

第三次小牧市環境基本計画（改定版）についての答申を行う。

令和 5 年 8 月 1 日付け 5 小環第 691 号で諮問のあった第三次小牧市環境基本計画（改定版）（案）について、これまで 6 回にわたる会議を開催し、環境基本計画の改定に関する事項について検討を重ねてきた。

これまでの提言及びパブリックコメントで寄せられた市民の意見は、貴市でご検討いただき、第三次小牧市環境基本計画（改定版）（案）に反映されている。計画の決定に当たっても、本審議会の提言を十分に尊重していただくようお願いし、ここに第三次小牧市環境基本計画（改定版）（案）を別添のとおり答申する。

(事務局)

第三次小牧市環境基本計画の中間見直しにあたり、一昨年 8 月に市より諮問をさせていただき、合計 6 回にわたって、ご審議いただいたところである。委員の皆様にご理解とご協力をいただき、計画案を完成することができた。改めて、感謝申し上げます。

昨年は集中豪雨による被害や記録的な猛暑など、地球温暖化が一因とされる気候変動による影響が各地で確認され、また、海洋プラスチックごみ問題や生物多様性の保全など様々な環境問題にも現在直面している。

今回、委員の皆様にご審議いただいたこの計画は、環境分野における最上位計画となり、令和7年度以降はこの計画に基づき環境施策を推進していくこととなる。計画を策定して終わりではなく、ここから地球温暖化対策、資源循環、生物多様性の保全など環境保全に向けてより一層力を入れて取り組んでいきたいと思っている。

来年度以降は、環境年次報告という形で取組状況等をご報告させていただくが、引き続き小牧市の環境施策にご理解とご協力をお願いして、お礼のあいさつとさせていただきます。

以上